

山梨県森林環境部次長 前島 斉様からのメッセージ

日本高山植物保護協会の令和 2 年度通常総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。また、皆様方におかれましては、高山植物保護活動にご尽力いただいていることに心より敬意を表する次第であります。本来であれば、皆様方に御挨拶を申し上げるべきところではございますが、所用のため、お伺いすることができませんので、メッセージを送らせていただきます。

さて、山梨県は、富士山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父連峰と四方を名峰に囲まれており、これらの山々を源流とする清らかな河川や溪谷、富士五湖をはじめとする湖沼など、自然環境に恵まれております。特に、ユネスコエコパークに登録されております南アルプス、甲武信をはじめとする山岳地域には、厳しい環境の中を生き続けている貴重な高山植物が生育するなど、生物多様性に富んだ貴重な生態系が築かれています。これらの貴重な自然環境を保全し、次世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの重要な責務であると考えております。

本県では、平成 30 年 3 月に『2018 山梨県レッドデータブック』を公表し、平成 31 年 1 月に絶滅が危惧される種など 15 種を、令和 2 年 1 月には、新たな 1 種を指定希少野生動植物種に指定し、採取、損傷等を禁止するなど、保護、保全に向けた取り組みを強化しております。

また、ニホンジカの管理捕獲につきましては、特に高山域の植物への影響が懸念される標高の高い鳥獣保護区において重点的に実施しています。

本県でもこのように自然環境を保全するため、様々な取り組みを進めておりますが、行政の力だけでは十分ではなく、NPO や事業者、県民などが一体となって取り組んでいく必要があります。

貴協会や本日御出席の皆様方には、今後とも高山植物をはじめとする自然環境の保全のため、更なるご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、日本高山植物保護協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝を心より御祈念申し上げます。